

県立図書館だより

令和6年7月

青森県立図書館報 第49号

青森県近代文学館 特別展「作家とのりもの」開催！



愛車ダットサンに乗る北村小松



高木恭造愛用のミニチュア機関車



模型飛行機「ぶた号」



青函連絡船と寺山修司

青森県近代文学館の今年度の特別展（7月13日～10月14日）は「作家とのりもの」と題し、青森の作家・青森にゆかりのある乗り物に関連する文学作品やエピソードについて、乗り物の模型や写真などと共に紹介します。

目 次

特別展「作家とのりもの」	1～2
こどものひろば	3
ご存じですか？この人・この資料～郷土資料の紹介～	4
ようこそ文学館へ！近代文学館資料の紹介	5
一般室みみより情報	6
図書館の利用案内	7

特別展 さっかとのりもの

本州の最北端、三方を海に囲まれている青森は、昔から交通の要所として栄えてきました。これまでに多くの人々が船や鉄道、車など様々な乗り物に乗って青森を訪れ、時には更に北へ向かい、あるいは青森から旅立っていきました。

そういった地域柄もあってか、乗り物に関連する文学作品を発表した青森の作家や、青森にゆかりのある乗り物が登場する文学作品は少なくありません。

特別展「作家とのりもの」では、青森の作家・青森にゆかりのある乗り物に関連する文学作品やエピソードについて、乗り物の模型や写真などと一緒に紹介します。

○会期：令和6年7月13日（土）～10月14日（月・祝）

※会期中の休館日：7月25日（木）、8月22日（木）、9月11日（水）、9月26日（木）

○場所：青森県近代文学館 企画展示室（青森県立図書館2階）

○開館時間：9:00～17:00（観覧無料）

○展示概要



じてんしゃ

「石坂洋次郎×自転車」：石坂洋次郎愛用の自転車（弘前市立郷土文学館蔵）

「青い山脈」「石中先生行状記」資料など

ふね

「青函連絡船に乗った文人たち」：石川啄木、宮澤賢治など

「青函連絡船が関係する文学作品」：「白夜を旅する人々」など



れっしゃ

「高木恭造×鉄道」：愛用のミニチュア機関車など

「太宰治×鉄道」：鉄道が関係する作品やエピソードなど

くるま

「北村小松×愛車 ダットサン」：写真、模型、運転免許証など

「寺山修司×フォルクスワーゲン」：写真、模型 など



ひこうき

「北村小松×飛行機」：模型飛行機「ぶた号」、「燃ゆる大空」関連資料など

「竹内俊吉×飛行機」：ミス・ビートル号取材した竹内俊吉

○関連イベント：あおもりのりもの写真展

「あおもり×のりもの」をテーマに、青森の高校生たちが撮った写真を展示します！

会期：特別展会期中常時 場所：展示ロビー 観覧無料



◆最新の情報は当館ホームページにてご確認ください。◆



こどものひろば



今回の「こどものひろば」では、児童閲覧室のイベントについてご紹介します。

◎おはなし会 毎月第2土曜日

◎おしえて先生!知るしるする探検隊 毎月第4土曜日(2024年度は12,3月を除く)

どちらも時間は14時から14時30分まで、場所は児童閲覧室おはなしコーナーです。

事前申込は不要です。

詳細は青森県立図書館ホームページ「こどものへや」をご覧ください。

<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/kids/>



おはなし会

ボランティアと図書館職員が、絵本の読み聞かせや、本の紹介をします。

6月は、『ぞうくんのさんぽ』（なかのひろたかさく・え なかのまさたかレタリング 福音館書店 1977）や、こども達から「この本よんで!」とリクエストのあった本の中から、『ノラネコぐんだんおすし屋さん』（工藤ノリコ著 白泉社 2015）を大きなサイズの絵本で読み聞かせしました。



6月8日
おはなし会の様子

8月10日のおはなし会では、乗り物の絵本を読み聞かせしたあと、青森県近代文学館（県立図書館2階）開催の特別展「作家とのりもの」を見学します。

※特別展の詳細は2ページをご覧ください。

おしえて先生!知るしるする探検隊

毎月違うテーマで、科学や歴史、スポーツや職業などの、いろいろな世界を探検します。

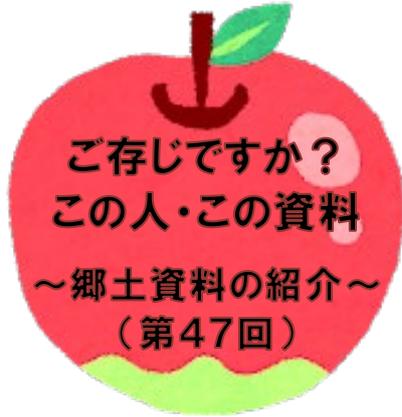


6月22日 おしえて先生!
知るしるする探検隊の様子

6月は、浅虫水族館の藤田えみさんが「すいぞくかんのおしごと」というテーマで、飼育員さんの一日の仕事の内容やイルカの調教等について、スライドを見せながら紹介してくれました。こども達は水族館の生き物の話等をとても興味深げに聞き、藤田さんへたくさん質問をしてくれました。

7月27日は「あおもりのやさい」、8月24日は「防災 今からできること」をテーマに、探検します。

小さなお子様から楽しむことのできる内容で開催しています。
ぜひ、ご家族でご参加ください。



青森県立図書館では、内容が青森県に関する主題となっている資料を「郷土資料」として収集しています。

郷土資料の中には、著者による自費出版や、配布先が限定される私家版など、一般に書店等を通じて流通する資料に比べると入手が困難な資料があります。

これらの資料は、新聞の記事情報などを元に、出版元に直接連絡を取ったり、自費出版を請け負う印刷業者や地元書店等から出版情報を提供いただいたりして、収集に努めています。また、ご厚意により著者から県立図書館へ資料を寄贈いただくこともあります。

今回は、6月の新着資料から、自費出版の郷土資料を一部ご紹介します。

『向切田栗山家のこと』(苔米地 宣裕著 2024)

十和田市の一角にある向切田という集落には、栗山姓を名乗る家が十数軒あり、本書ではその一族を「向切田栗山家」と呼んでいます。

著者の苔米地氏も、南部藩士として取り立てられ苔米地姓を名乗る前は、向切田栗山家と先祖を同じくし、栗山姓を名乗っていたといえます。

その後、著者は向切田栗山家の当主と語り合う機会を得たものの、栗山家に関する古い話が時代と共に消え去ってしまうのを惜しみ、同家について知りうる限りのことをまとめた資料です。

『山城の里 青森市油川、奥内、後潟の歴史と暮らし』(田中 洋一編 2024)

平成28(2016)年に、青森市北部の魅力を再発見しようと北部市民センターで開催された「地域再発見！地域マップを作ろう」がきっかけで、令和2(2020)年にサークル「暮らしと歴史 新・発見隊」が結成されました。この資料は、これまでの活動における調査研究を取りまとめたものになります。

本書には『奥内町誌』(鈴木政四郎著 1965)の復刻版*も収録されており、青森市北部の歴史を知ることができます。

* 本書内の『奥内町誌』復刻にあたっては、底本から「第1編 原始時代」が割愛され、誤字等の修正と注釈が加えられた形で再編集されています。

『石澤暁夫 岩木山百景 300 作品集』(石澤 暁夫著 2024)

令和2(2020)年のコロナ禍、何か目標を立てて行動しようと、岩木山の油絵を100枚描くことに挑戦し始めた石澤さんは、毎日のように筆を執り、半年で100枚を達成します。その後も様々な表情の岩木山を描き続け、3年半で実に300枚にまでなりました。本書は300枚の油絵を作品集としてまとめたものです。

津軽では「どの方角から見える岩木山が一番か」の話になると、各々が自分の生まれ育った場所からの眺めを褒め称えたと聞きます。作品集をパラパラとめくる中で、ふと目が留まり良いなと感じた岩木山が、自分の生まれた町からの景色と分かり胸が熱くなる…なんてこともありそうです。

今回ご紹介した資料は、いずれも貸出可能です。どうぞご利用ください。

ようこそ文学館へ！

近代文学館資料の紹介(第48回)

特別展「作家とのりもの」展示資料から

青森県近代文学館では令和6年7月13日から10月14日まで、特別展「作家とのりもの」を開催します。今回はその展示資料の中から、高木恭造原稿「世の中変わるべね——東北新幹線開通で」と、林芙美子 大佛次郎 西條八十 櫻井忠温 合作色紙「飛行機による北日本一周記念」をご紹介します。

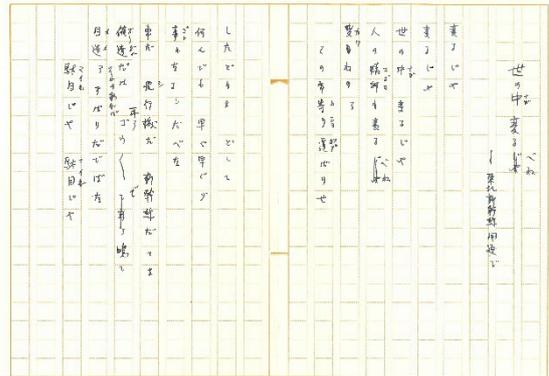
① 高木恭造原稿「世の中変わるべね——東北新幹線開通で」

津軽方言詩で知られる青森市出身の高木恭造は幼い頃から汽車が大好きで、3、4歳の頃から小学校卒業の頃まで、毎日のように汽車を見に行っていたそうです。25歳で満州に渡った際には幼い頃からの夢だった鉄道機関士になろうとしますが、近眼のせいで叶いませんでした。

夢叶わず眼科医となった恭造ですが、汽車好きは生涯変わらず、老境に入っても座敷にレールを敷いてミニチュア機関車(※特別展で展示)を走らせては子どものように喜んでいました。

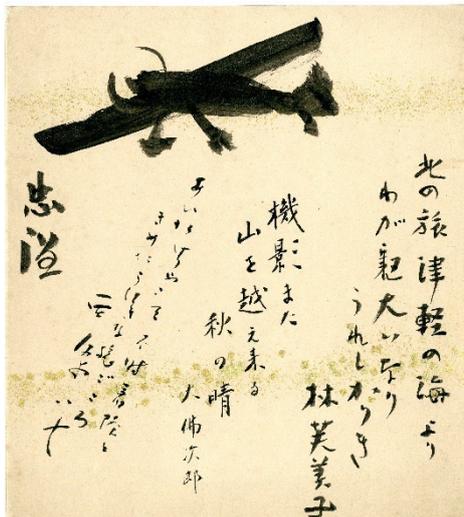
全3枚の原稿に書かれた詩は「週刊朝日」昭和57年7月1日号に掲載されたもので、同年6月の東北新幹線開業(大宮-盛岡間)にあたっての複雑な心境が津軽弁で表現されています。交通の進化によって移動時間が短くなり、便利にはなっていくが、変わってしまうものや失われてしまうものもあるのではないか。このような思いは恭造に限らず多くの人々が感じていたのかもしれない。青森を含め全国の地方鉄道が失われつつある現代、恭造が生きていたらどんな詩を書くでしょうか。

恭造は東北新幹線の青森県内への延伸を待たず昭和62年に逝去しましたが、恭造の命日である「津軽弁の日」25周年を記念して新青森駅西口緑地に建てられた恭造の功績を称える文学碑から、新幹線を利用する人々を見つめているのかもしれない。



② 林芙美子 大佛次郎 西條八十 櫻井忠温 合作色紙「飛行機による北日本一周記念」

福岡(山口)県生まれの小説家・林芙美子は、昭和9年9月、読売新聞社の「空の紀行リレー」という取材新鋭機搭乗企画に大佛次郎、西條八十、櫻井忠温と共に選出され、青森—札幌—能代間を当時としては珍しい飛行機で移動しました。この色紙はその際に書かれたもので、裏面には「昭和九年九月読売新聞において文学の新分野として航空文学開拓を提唱。四文人を飛行機に乗せて北日本一週をなす。成功後の記念。」と書かれています。



・林芙美子

「北の旅津軽の海より わが軀^{からだ}大いなり うれしかりき」

・大佛次郎：神奈川県生まれの小説家。

「機影また 山を越え来る 秋の晴」

・西條八十：東京生まれの詩人、作詞家。

「あいたけりやいで不時着陸と きめたうはきな旅ごころ」

・櫻井忠温：愛媛県生まれの軍人、作家。

〈飛行機の絵〉

旅好きで生涯に何度も飛行機に乗った芙美子ですが、昭和8年から終戦まで使用された青森飛行場(油川飛行場)から北海道へ飛び立ったこの旅が初めての飛行だったそうで、その経験を著作「飛行機の旅」に詳細に著しています。

一般室みみより情報 (第1回)



「カウンターからひとこと」のコーナーはタイトルを一新し、「一般室みみより情報」に生まれかわりました。これからも、青森県立図書館のご利用に役立つさまざまな情報をご紹介しますので、お手に取られた際はぜひご一読ください！

今回は、読みたい本探しをお手伝いする「情報検索コーナー」についてご紹介します。

○ 情報検索コーナーはどこにあるの？

● 一般閲覧室内に、2箇所あります。

① エントランスから自動ドアを入ってすぐのコーナー …………… 2台

※ ①のコーナーは、タッチパネル式です。

② 一般閲覧室カウンター前をまっすぐ進んだ先のコーナー …………… 2台

※ ②のコーナーはキーボード式です。椅子に座ってご利用いただけます。

● 情報検索端末では、色々なことができます。



① 標準蔵書検索

キーワードで検索ができます。

② 詳細蔵書検索

種類ごとに、タイトル、著者、出版年で検索ができます。

③ よくある検索

よくある検索の結果を表示できます。

④ 新着資料

ジャンルごとに分けて新着資料の一覧を表示できます。

⑤ 貸出の多い資料

貸出の多い資料をランキングで表示します。

⑥ 予約の多い資料

予約の多い資料をランキングで表示します。

⑦ お知らせ カレンダー

開館日カレンダー、およびオンライン貸出サービスの休止情報等のお知らせを閲覧できます。

⑧ My ライブラリ設定変更

ログイン後、My ライブラリの利用者情報の変更や、現在借りている本・予約している本などの情報を見ることができます。

※ 資料詳細の画面では資料の場所等が表示されたレシートを印刷することができます。

印刷したレシートの見方については、図書館だより48号掲載の「カウンターからひとこと(第46回)」をご覧ください。

※ My ライブラリをご利用いただくには、初回のお申し込み、および登録が必要です。詳しくは一般閲覧室カウンター職員までお声がけください。

おすすめトピックス

「こちらの棚の本もご利用いただけます」コーナー ご存じですか？

一般閲覧室カウンター横には、「こちらの棚の本もご利用いただけます」と表示している書棚があります。このコーナーには、返却されたばかりでこれから棚に戻す本を置いています。

借りたい本が「貸出可」のはずなのに、なぜか見つからない……。そんな時は、こちらのコーナーにあるかもしれません。表示のとおり、**もちろん貸出可能**です！ぜひご利用ください。

※ 本が見つからない場合、他の方がご利用中の場合や、書庫にしまっている本の場合もございます。ご不明な点はお気軽にカウンター職員までお声がけください。

令和6年度利用案内

開館時間

◆一般閲覧室 9:00～19:00

◆参考・郷土室 9:00～19:00

◆児童閲覧室 9:00～17:00

◆近代文学館 9:00～17:00

貸出点数・期間

◆点数：10点まで

※CDなどの視聴覚資料を含みます。

◆期間：2週間

※予約が入っていない場合、1週間の期間延長ができます。予約の有無は一般閲覧室へお尋ねください。

児童閲覧室の行事

◆おはなし会

第2土曜日 14:00～14:30

◆おしえて先生！知るしるする探検隊

第4土曜日 14:00～14:30

(12、3月を除く)

近代文学館の年間行事

◆特別展「作家とのりもの」

7月13日～10月14日

◆企画展「あおもりの校歌」

12月7日～3月23日

※日程は変更となる場合があります。

青森県立図書館・青森県近代文学館

●住所 〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7

●電話番号

◆一般閲覧室 : 017-729-4300

※貸出・返却・延長・予約のご連絡などはこちらへ。

◆参考・郷土室 : 017-729-4311

※レファレンスや児童サービスについてのご連絡はこちらへ。

◆音声案内 : 017-729-4111

◆図書館代表電話 : 017-739-4211

◆図書館代表FAX : 017-739-8353

◆近代文学館 : 017-739-2575

●ホームページ <https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>



図書館だより 第49号

令和6年7月22日発行

編集・発行 青森県立図書館